



満開の八重桜の下に佇む可憐な姿

26. 4. 18
杉並区広報課

「野草展」開催中！

本日から3日間、「第33回野草展」が区立大田黒公園（荻窪3-33-12）で開催されています（主催：杉並野草の会）。ちょうど見頃の八重桜の下で、美しい300鉢もの野草の花々が並び、会場は熱心な野草ファンで賑わっています。

この野草展は、「野草の名前を知ってもらい、植物に親しみを持ってもらおう」と、杉並区内の野草愛好家のグループ「杉並野草の会」が主催し、毎年行っているもので、今年で33回目になります。会員の方々が日頃から丹精こめて育てている野草を数多く觀賞できるとあって、例年1500名程の方が、区内はもとより区外からも訪れています。

会場には、会員が持ち寄った約280種、300鉢ほどの野草が展示され、小さく可憐な花をつけているものや、赤い実を輝かせているものなど、それぞれの魅力を競っています。



初日の今日はあいにくの天気でしたが、午前10時の開場と同時に30名近くの野草ファンが訪れ、日頃見られない花を撮影したり、野草の会のメンバーの説明に熱心に耳を傾ける姿が見られました。花の中から細く糸状に伸びた部分を、浦島太郎が垂れた釣り糸に見立てて名前が付いたウラシマソウや、笠をかぶった踊り子達が丸く並んだように見えるオドリコソウ、花びらの形が船のイカリに似ているイカリソウなど、ネーミングの妙とあわせて来場者の目を引いていました。

区内の50代女性は、「毎年来ています。健気で可憐な姿がとても魅力的ですよ。一鉢ごとに表情が違うので、ついつい長い時間見入ってしまいます。」と、笑顔で話していました。

杉並野草の会の金 順一（こん・じゅんいち）会長は、「この時期に合わせて咲くように、会員が丹精を込めて育ててきました。都会ではなかなか目にすることのできない野草の様々な趣を、この機会に楽しんでもらいたいです。」と話していました。

なお、会員の方が持ち寄った野草の苗を、大事に育ててくださるかたにお分けしています。

第33回杉並野草展

【開催日時】4月18日(金)～20日(日) 午前10時～午後4時(20日は午後3時まで)

【場所】杉並区立大田黒公園(杉並区荻窪3-33-12)

【参加費】無料 【その他】車での来場はご遠慮ください。

【問い合わせ先】

総務部広報課 TEL：3312-2111